

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】大滝村バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
4	2005.7			北海道	大滝村	1,565	274.03
構想の要約		除間伐事業で発生する林地残材を木質燃料化し、木質ボイラーおよびペレットストーブの燃料として利用する。役場庁舎に設置した木質ボイラーから周辺の公共施設等へ暖房・給湯を行う地域熱供給システムを確立し、魅力ある村づくりを推進し地域の活性化を図る。					
構想に盛り込まれた事業		木質バイオマスの利活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物		稲わら・もみがらなど		資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など					
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料等)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

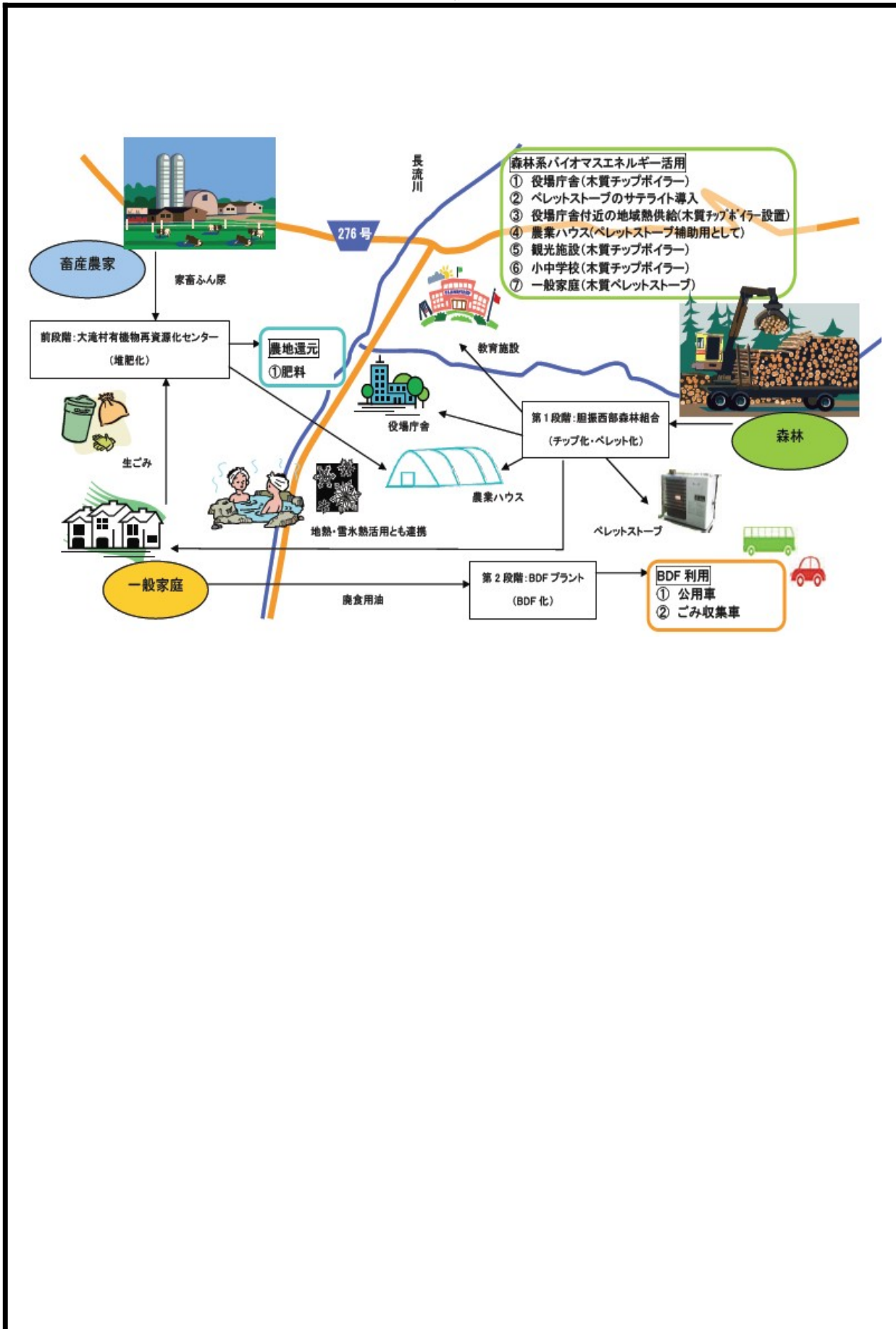
(1) 利活用目標

本村は、すでに前段階として、家庭用生ごみ及び事業系生ごみ90%以上を収集し、有機物再資源化センターで堆肥化している。これに続く段階として、未利用資源である林地残材等の木質バイオマスの2,904t/年(炭素換算約647t/年)の50%以上の利活用を図り、本村から発生する未利用バイオマスの40%以上を利活用することを目標とする。

また、家庭や事業所から出る廃食用油の燃料化については、現在、事業所から排出されている廃食用油を1,000ℓ/月を回収し、暖房用燃料に利用する試験を実施しており、今後も検討を続け、積極的に推進していく。

バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)